

(4種少年委員会 食育プロジェクト)

ヴァンフォーレ甲府選手と田植え体験

2011.6.4

昨年度に続き、(社)山梨県サッカー協会4種少年委員会では食育活動の推進に取り組んでいます。

「食育」とは食を通して人間として生きる力を育むことであり、子供の頃から体に良い食事をする習慣を身につけ、「食」の大切さを学び、豊かな心を育てる教育だといわれています。未来を担う子供たちを育成している4種少年委員会としても、この活動を積極的に推進し、健康な体と心で子供たちがサッカーに取り組んで行けることを目的としています。

参加者 ヴァンフォーレ甲府 東海林強化部長 岡 大生選手 小池悠貴選手 加部未蘭選手
山梨学院短期大学食物栄養科学生
応募ご家族 40家族90名

実施主体 食育プロジェクト事業タイアップ企業：山梨県米穀株式会社（はくばくグループ）
山梨県サッカー協会4種少年委員会 食育プロジェクト担当

当日の様子をご覧ください

当日は晴天に恵まれ、ちょっと暑かったですが、みなさんとても楽しそうに田植えをしていました。ほとんどの方が初めての体験でしたが、農家の方にご指導をいただき、まっすぐに植えることができました。(昨年より上手だな～農家の方のコメント)



秋にはこの田んぼで、今日ご参加いただいた家族のみなさんと、稲刈りを行います。その時には500キロを超えるお米が取れることを期待します。

山梨県米穀(株)の三沢専務さん・V F 甲府の東海林強化部長さんにごあいさつをいただきました。



山梨学院短期大学食物栄養科の学生さんに、お米ができるまでを紙芝居で教えてもらいました。



左からV F 甲府の小池選手、岡選手、加部選手です。紹介の後、泥だらけになりながら、みんなと一緒に田植えを行いました。

「食育の田んぼ」でいよいよ田植えの開始です。



初めて田んぼに入りました。

V F 甲府の選手と一緒に田植え。



あと少し、がんばりましょう。



見事にまっすぐ田植えが完了しました。



田植え終了後、VF甲府選手のサイン会
が行われました。
みんな大喜びでした。



最後に全員で記念撮影。秋には稲刈りがんばろう。

